

世界の花と緑に出会える大温室



04

飛ぶ種

Ver.1 / 11. August 2023

博物館 04  
博物倶楽部  
書庫の道しるべ



〒538-0036 大阪市鶴見区緑地公園 2-163  
TEL: 06-6912-0055  
FAX: 06-6913-8711  
開館時間: 10:00 ~ 17:00 (最終入館は 16:30)  
休館日: 月曜日 (休日の場合はその翌平日) 及び 年末年始 (12/28 ~ 1/4)

【入館料】大人: 500 円  
※中学生以下、障がい者手帳等をお持ちの方 (介護者 1 名を含む) 及び  
大阪市内在住の 65 歳以上の方は無料  
要証明 (生徒手帳、健康手帳、敬老優待乗車証等の原本)  
※30 人以上は団体割引あり

【交通案内】Osaka Metro 長堀鶴見緑地線「鶴見緑地」駅下車徒歩約 10 分

<MEMO>

## 飛ぶ種



対象者: 子どもから大人まで

作成者: MORI

協力: 咲くやこの花館

博物倶楽部の最新情報、パスファインダーについては  
twitter「@Hakubutsu\_Club」からお知らせ、また  
<http://www.hakubutsuclub.com/> でご覧いただけます

## I. イントロダクション

### 飛ぶ種について

植物が種を拡げるための戦略のひとつに「空を飛ぶ」があります。飛ぶ種の形や種類、飛ぶときにはどんなことが起きているかなどを知る手がかりとなる本をご紹介します。

関連分野：植物学 種子 力学

## II. 子供も大人も楽しめる

■サカタのタネ（監修）,2010,『タネの大图鑑 色・形・大きさがよくわかる 身近な花・木から野菜・果物まで』PHP 研究所\*

身近な花や野菜、果物といった慣れ親しんでいる植物を中心とした図鑑。種苗会社の仕事の紹介や新しい品種の種子の作り方など種博士になれる読み物も。

■高森登志夫（絵）・古矢一穂（文）,2010,『たねのずかんとぶ・はじける・くつつく』福音館書店\*

様々な植物の種子が散布方法ごとにイラストで紹介されています。ほとんどの種子が実物大で描かれています。

■埴沙萌,2011,『たねのゆくえ』あかね書房\*

様々な散布方法が分かりやすい文と写真で紹介されています。種子が散布される時期も掲載されているため、野外に観察に行く際の参考にもできます。

## III. 大人と一緒に楽しむ

■中山至大,南谷忠志,井之口希秀,2004『日本植物種子図鑑』東北大学出版会\*

日本産の植物の種子を2,000種以上紹介。ユキモチソウなどなかなかお目にかかれない種子も掲載されています。

■小林智洋・山東智紀（著）・山田英春（写真）,2020,『世界のふしぎな木の実図鑑』創元社。

世界の変った形の種を大きく鮮やかな写真で見られます。中でもフタバガキの種類の多さは必見です。2枚の羽から5枚の羽のものまで約10ページにわたって紹介されています。

■鈴木英文,2021,『空飛ぶタネの模型づくり——つくって、とぼして、植物のすばらしさを学ぼう』NextPublishing Authors Press.

飛ぶ種の模型を身近な素材で作る方法を紹介している本です。自分の手で作ってどんな飛び方をするのか観察してみませんか。

※本文中「\*」のマークのついた本は、咲くやこの花館からの紹介、また同館に収蔵されているものです。

### 【協力館紹介】 咲くやこの花館

咲くやこの花館は、1990年(平成2年)4月から9月に開催された EXPO'90「国際花と緑の博覧会」のメインパビリオンとして大阪市により建設された国内最大級の大温室で、約5,500種、15,000株のさまざまな気候帯に分布する植物を栽培展示しています。

「熱帯雨林植物室」「熱帯花木室」「乾燥地植物室」「高山植物室」からなる4つの植物室があり、季節の花も含め常に300種類以上の花や実を楽しむことができます。

アテンダントスタッフによる館内フラワーツアーでは、お客さまと一緒に館内をまわり、植物にまつわるエピソードや由来などを楽しく紹介しています。

年間を通して「熱帯フルーツ展」や「虫を食べる植物展」など、植物をテーマとしたイベント、季節の花の展示会などを開催しています。

<MEMO>